

<演習 1 ワークシート> 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育（道徳教育指導者養成研修）

演習 1 「学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の推進上の課題－情報交換・課題の共有－」		都道府県 等 名		受講者 番 号	
所属 (学校名/教育委員会名)		職名		氏名	

あなたの学校では、どのような子供像を目指して道徳教育を推進していますか？	
道徳教育を推進する上でのポイントは何か？	
そのポイントは道徳のどのような内容と関わりがありますか？	

それがあなたの学校の重点内容項目です。これは、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の重点でもあるのです！
 それでは、重点内容項目に関わる指導を考えてみましょう！ 教科と学年、単元や題材などを想定してください。

教科名	(校種 第 学年)
単元・題材名	
本時の目標 (道徳教育の視点)	

1時間の授業の中で、どのように道徳性を養うのかが分かるような授業の流れを想定してください。このときに、教科の特質をしっかり押さえましょう。

指導の流れ	
-------	--

注 1) A 4 判 1 頁以内とする。都道府県等名、所属、職名、氏名及び受講者番号を必ず記入すること。

注 2) 事前に教職員支援機構宛てに提出する。

注 3) グループ内配布用として、研修当日に必要な部数持参すること。

《様式1 ワークシートの記入について》

<p>あなたの学校では、どのような子供像を目指して道徳教育を推進していますか？</p>	<p>※道徳教育の重点目標を記述する。 例) 豊かな情操と思いやりの心を育て、集団や社会の一員として自ら考え、進んで実践する態度を育てる。</p>
<p>道徳教育を推進する上でポイントは何ですか？</p>	<p>※重点目標から指導のポイントを記述する。 例) 思いやり、集団の一員としての自覚</p>
<p>そのポイントは道徳のどのような内容と関わりがありますか？</p>	<p>※学習指導要領の道徳の内容を記述する(高等学校は中学校の内容を参照)。 例) 2-B [親切, 思いやり] [第3学年及び第4学年]、4-C [規則の尊重] [第3学年及び第4学年]</p>
<p>それがあなたの学校の重点内容項目です。これは、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の重点でもあるのです！ それでは、重点内容項目に関わる指導を考えてみましょう！ 教科と学年、単元や題材などを想定してください。</p>	
<p>教科名</p>	<p>※教科名、校種と学年を記述する。 例) 国語科 (小学校第4学年)</p>
<p>単元・題材名</p>	<p>※単元名や題材名を記述する。 例) ごんぎつね</p>
<p>本時の目標 (道徳教育の視点)</p>	<p>※本時の目標(と道徳教育の視点を記述する)。 例) ごんが兵十に償いをしに行く様子を読んで、兵十への思いやりを深めていく様子を読みとる(ごんの気持ちを想像することで思いやりのよさや大切さを感じられるようにする)。</p>
<p>1時間の授業の中で、どのように道徳性を養うのかが分かるような授業の流れを想定してください。このときに、教科の特質をしっかり押さえましょう。</p>	
<p>指導の流れ</p>	<p>※1時間の簡単な流れを記述する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">ごんはどんな思いで、兵十にウナギのつぐないをしたのだろう</div> 2 第3章を読んで、ごんの思いをまとめる。 3 グループでそれぞれのまとめを発表し合う。 4 「ごんがどんな思いで兵十に償いをしようとしたのか」を学級全体で話し合う。 ★ ごんの兵十に対する思いやりで、いいなあと思ったことを発表し合う。 5 学習のまとめをする。

演習2「子供の心に響く道徳教育の実践－学習指導案の作成・検討－」		都道府県等名		受講者番号	
所属 (学校名/教育委員会名)		職名		氏名	

道徳学習指導略案（○学校第○学年）

- 1 主題名 ○○○○○○○○○○ 道徳の内容○－(○)○○○○○
 2 資料名 ○○○○○○○○○○ (出典：文部科学省「わたしたちの道徳」)
 3 ねらい ○○○○○○○○○○……
 ○○○○○○○○○○……

4 主題設定の理由（指導観）

- (1) ねらいとする道徳的価値について（価値観）

○○○○○○○○○○○○○○○○○……
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○……

- (2) 児童生徒の実態について（児童生徒観）

○○○○○○○○○○○○○○○○○……
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○……

- (3) 教材について（教材観）

○○○○○○○○○○○○○○○○○……
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○……

※紙幅が狭いので、児童生徒の実態、資料の捉えや指導上の主な工夫等を中心に、簡潔に整理してください。
 ※学習指導略案は、USBメモリ保存し、研修当日に持参すること。

5 本時の展開

	学 習 活 動（発問と予想される子供の意識）	指 導 上 の 手 立 て と 評 価
	※表枠組みの項目立て等は、本枠を参考に、各グループ又は各自でお考えください。 なお、指導の一部をクローズアップした記述も可です。	

	○○○○○○○○○○	○○○○○○○○○○	○○○○○○○○○○

6 本時の評価

※本項目を置くか置かないかは自由です。

注) A4判2頁以内とする。都道府県等名、所属、職名、氏名及び受講者番号を必ず記入すること。

平成29年度道徳教育指導者養成研修（ブロック別指導者研修）

演習2「人間としての在り方生き方に関する教育の 実践－全体計画等の改善策・展開例の検討・発表・協 議－」		都道府県 等 名		受講者 番 号	
所属 (学校名/教育委員会名)		職名		氏名	
<p>●高等学校学習指導要領第1章第1款の2に記載されている「人間としての在り方生き方に関する教育」について、例えば、学校としての指導の重点や方針を明確にした全体計画や年間指導計画の作成・活用、効果的な体験活動の工夫、全教職員や保護者・地域の人々の理解の促進及び連携協力体制の工夫などの中から、学校全体の取組やその取組に当たっての課題について整理する。</p>					

- 注1) A4判2頁以内とする。都道府県等名、所属、職名、氏名及び受講者番号を必ず記入すること。
注2) グループ内配布用として、研修当日に必要な部数を持参すること。
注3) 本資料に加え、必ず必要部数分の全体計画を研修当日に持参すること。
注4) 全体計画はUSBメモリに保存し、研修当日に持参すること。